

# 資料-4

## 流域対策の事例紹介

令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

## 城陽市

## 第2回淀川流域治水協議会京都府分会

### 城陽市事例紹介

#### <事 例>

#### 1. 城陽市総合排水計画の流出抑制対策について

##### 【資料】

- ①総合排水計画段階的整備計画図

#### 2. 官民による調整池の整備について

##### 【資料】

- ②城陽市域主要事業箇所図
- ③新名神、国道拡幅事業調整池計画図
- ④新名神だより～おこしやす京都～ Vol.31

#### 3. 防災面でのソフト対策

##### 【資料】

- ⑤城陽市災害マップ(水害・土砂災害)

# 城陽市総合排水計画 段階的整備計画図

①

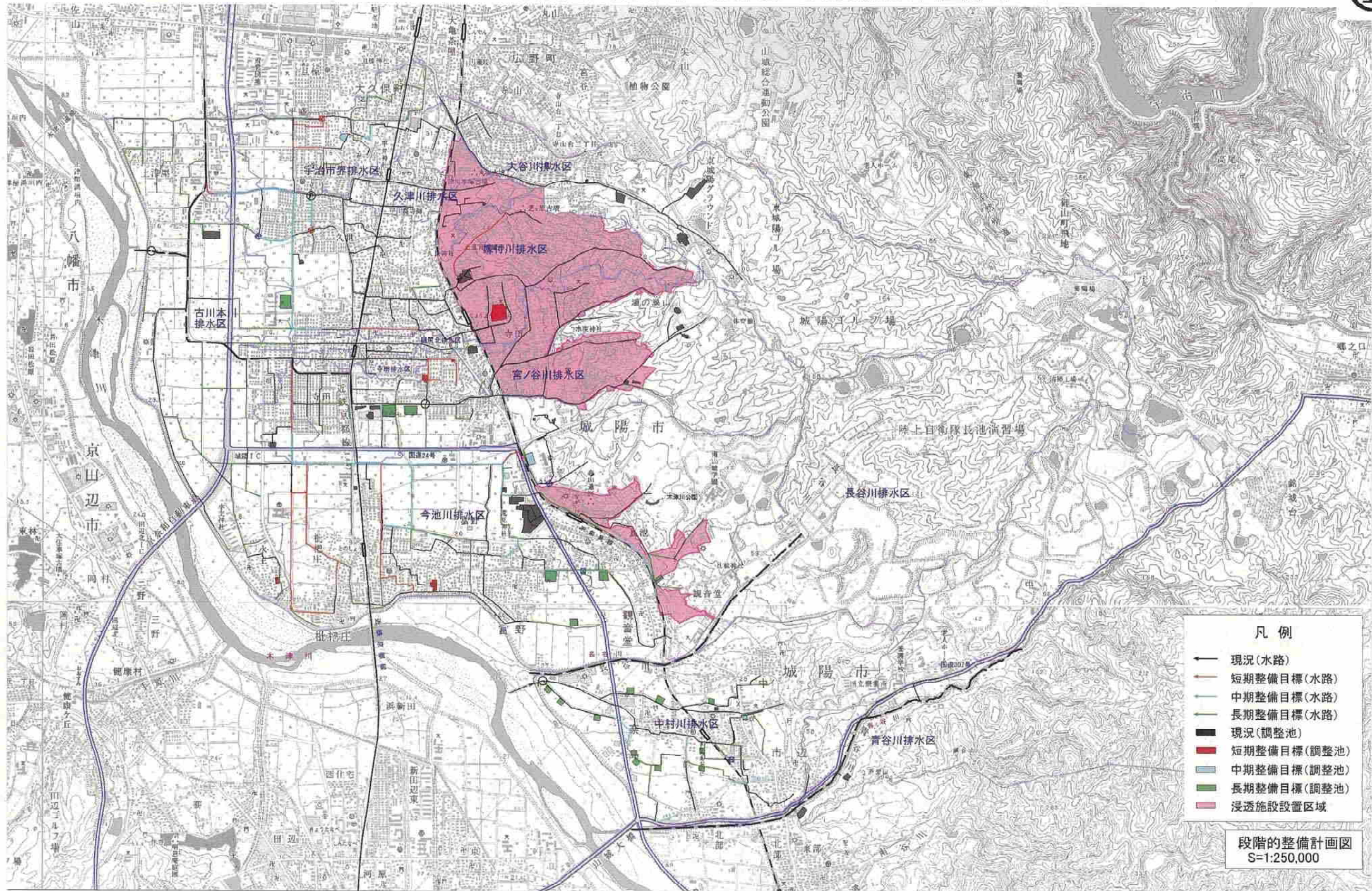
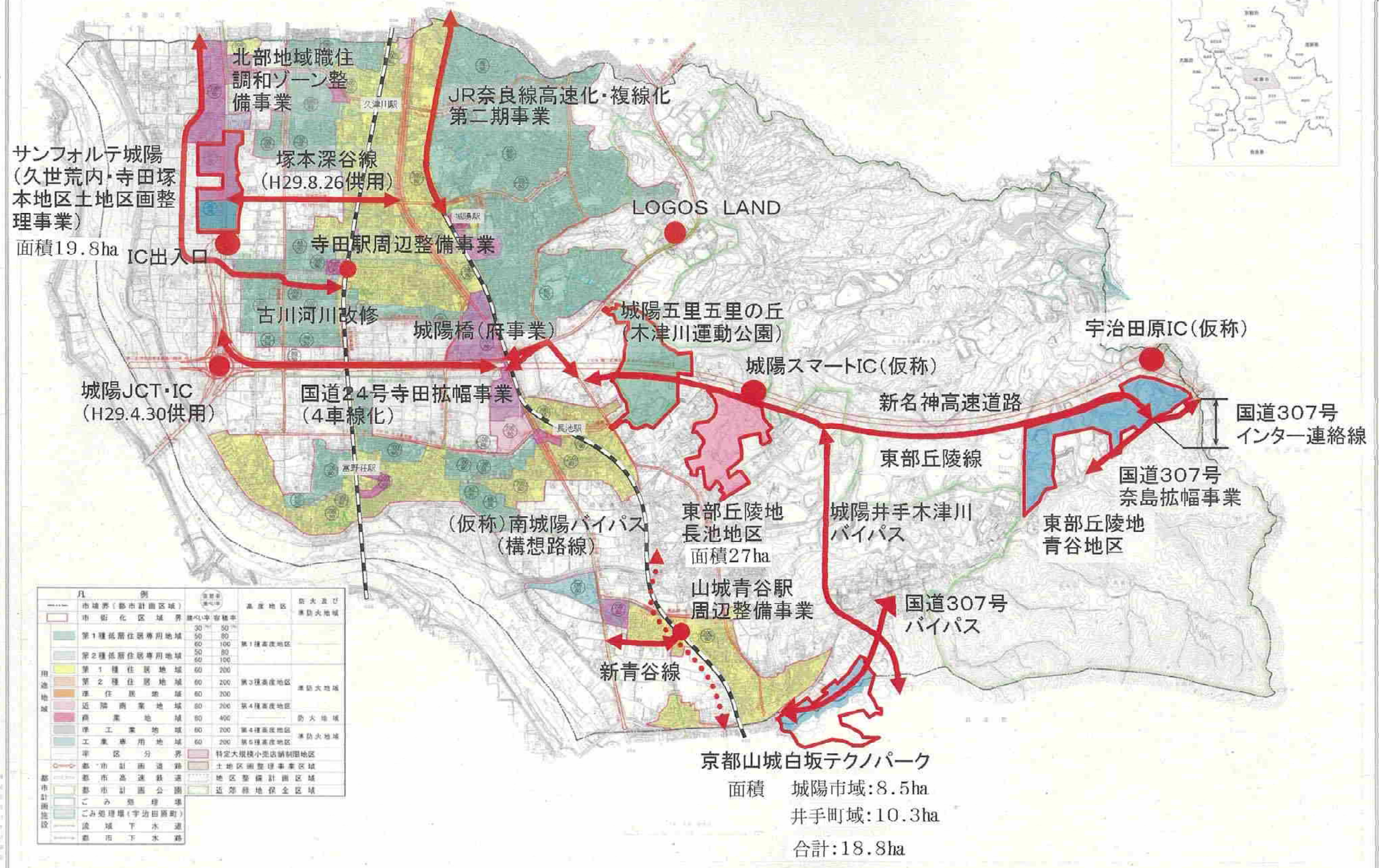


図 6.1 段階的整備計画図

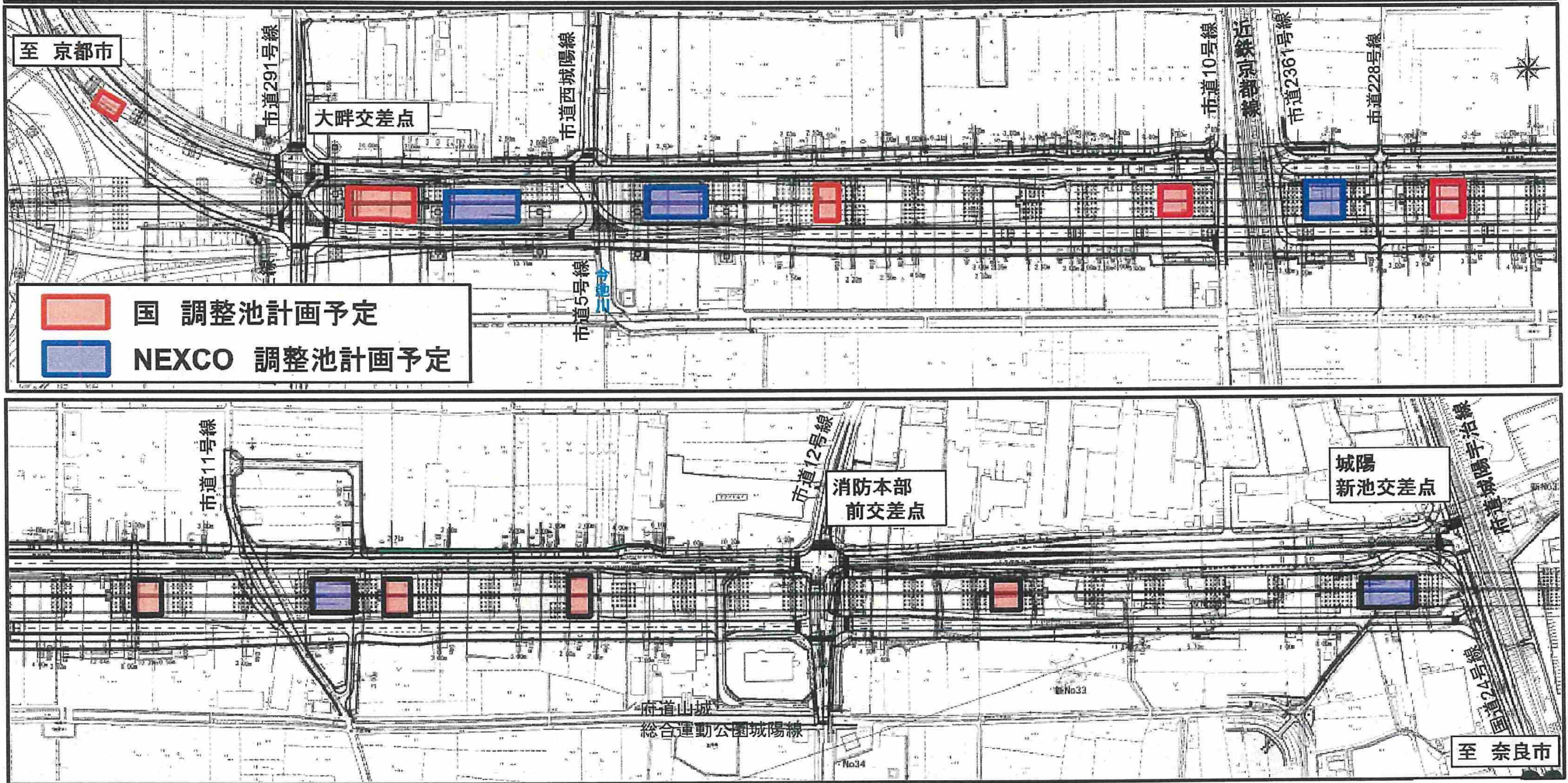
### 城陽市域主要事業箇所図



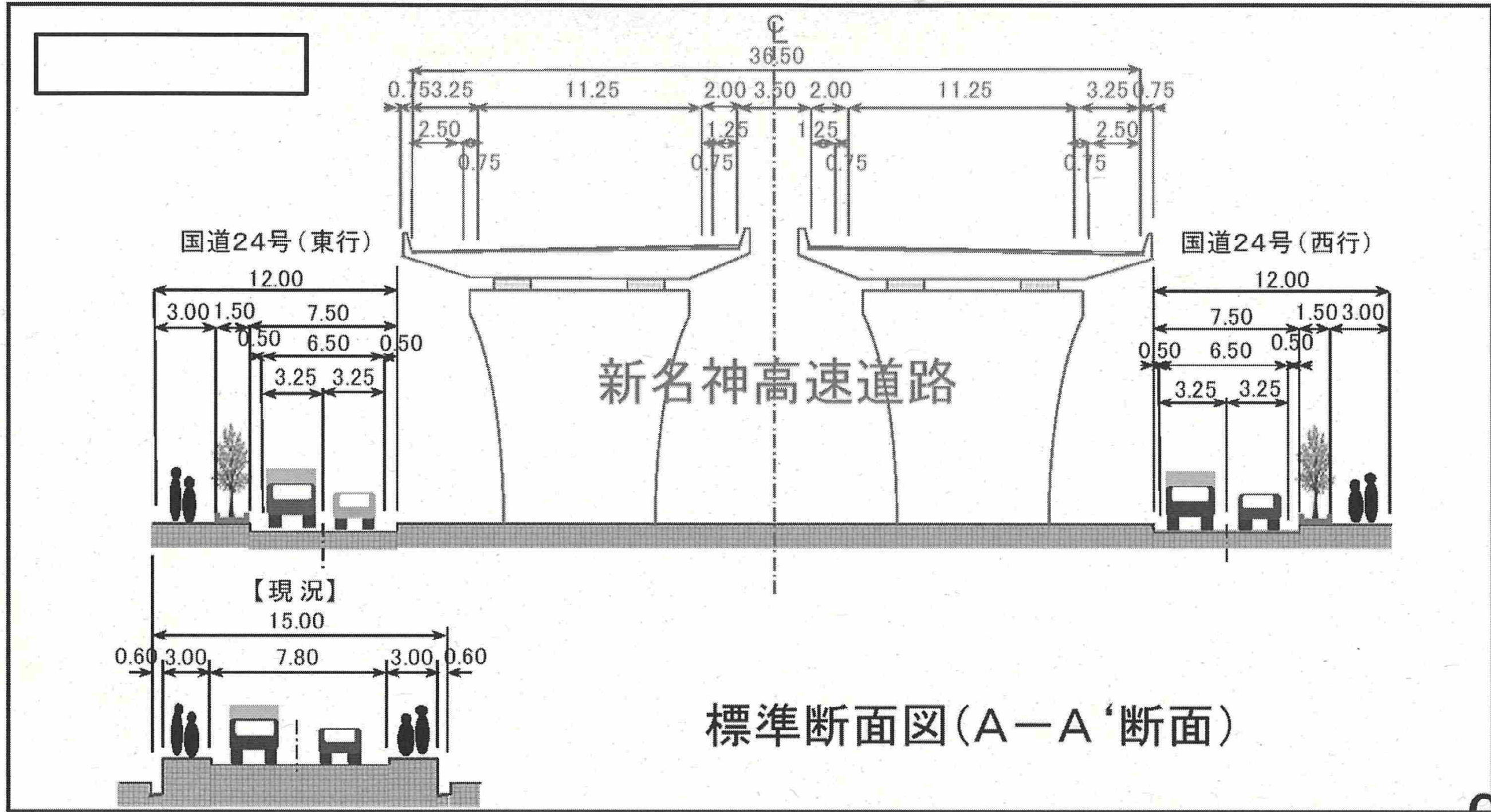
凡	例	容積率	高度地区	防火及び
市域界(都市計画区域)				準防火地域
市街化区域界				準防火地域
第1種低層住居専用地域		30 50	第1種高度地区	
第2種低層住居専用地域		60 100		
第1種住居地域		50 80		
第2種住居地域		60 200	第2種高度地区	準防火地域
準住居地域		60 100		
近隣商業地域		60 200	第4種高度地区	準防火地域
商業地域		60 400		防火地域
準工業地域		60 200	第4種高度地区	準防火地域
工業専用地域		60 200	第5種高度地区	準防火地域
学区分界				
都市計画道路				
都市計画公園				
ごみ処理場(宇治田原町)				
流域下水道				
都市下水道				

## 【調整池計画】

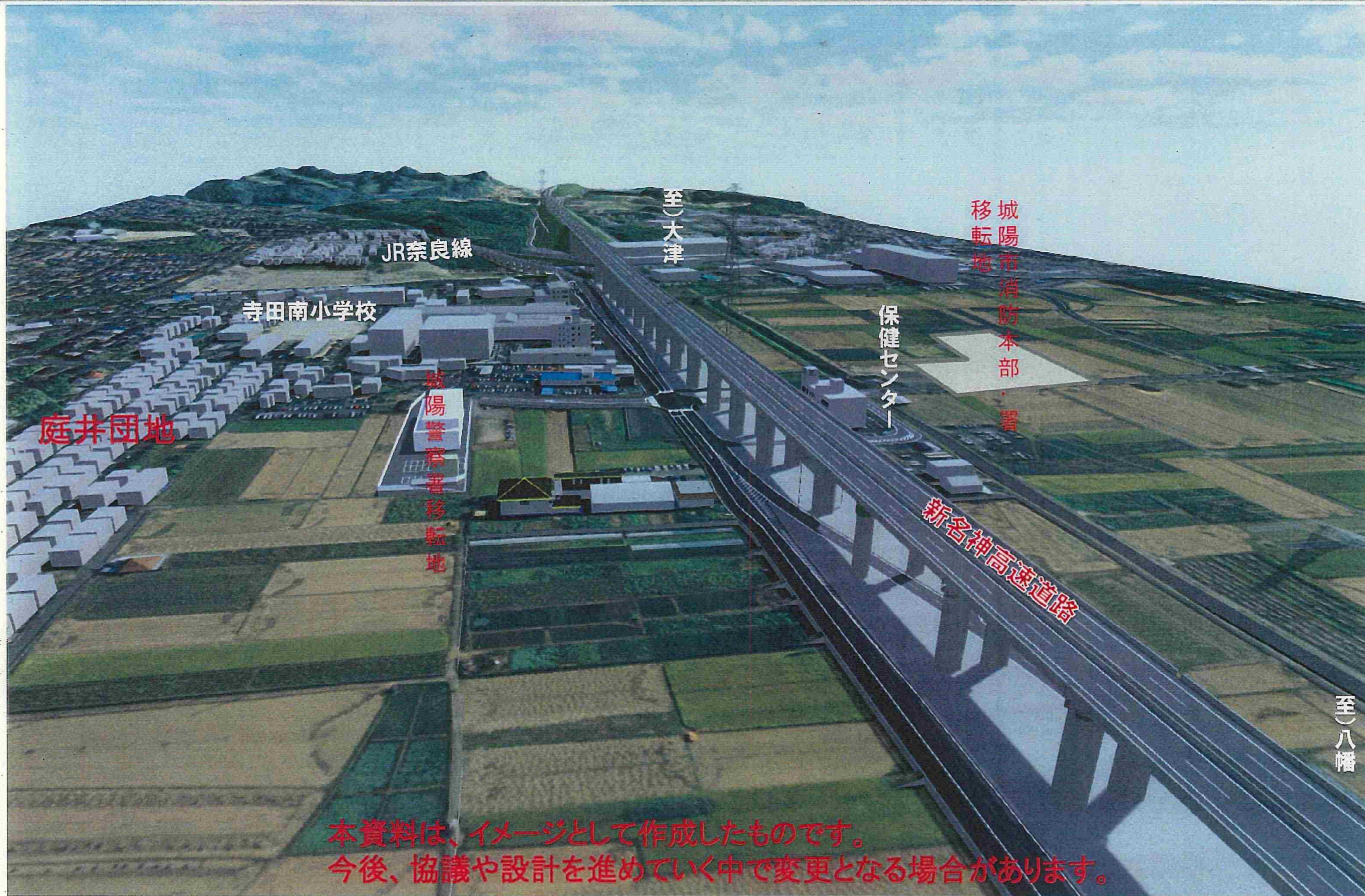
○ 新名神、国道拡幅整備に伴う、浸水・冠水等の対策として、新名神高速道路の高架下に調整池を計画予定。



計画横断面図



社会資本整備審議会 道路分科会第9回事業評価部会 配布資料 抜粋



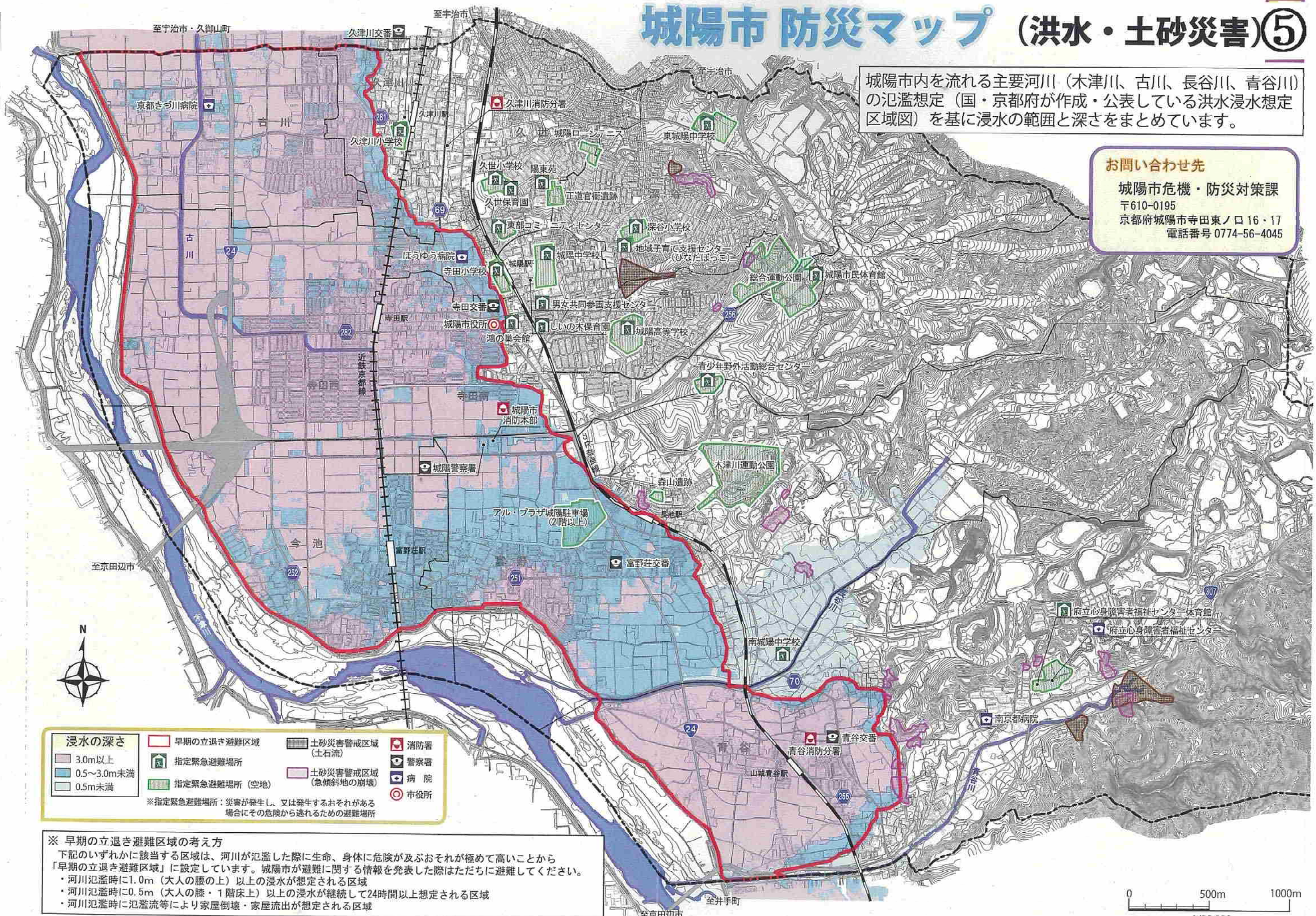


# 城陽市 防災マップ (洪水・土砂災害)⑤

城陽市内を流れる主要河川(木津川、古川、長谷川、青谷川)の氾濫想定(国・京都府が作成・公表している洪水浸水想定区域図)を基に浸水の範囲と深さをまとめています。

## お問い合わせ先

城陽市危機・防災対策課  
 〒610-0195  
 京都府城陽市寺田東ノ口16・17  
 電話番号 0774-56-4045



<b>浸水の深さ</b>	早期の立退き避難区域	土砂災害警戒区域(土石流)	消防署
3.0m以上	指定緊急避難場所	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	警察署
0.5~3.0m未満	指定緊急避難場所(空地)		病院
0.5m未満			市役所

※指定緊急避難場所：災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所

※ 早期の立退き避難区域の考え方  
 下記のいずれかに該当する区域は、河川が氾濫した際に生命、身体に危険が及ぶおそれが高いため「早期の立退き避難区域」に設定しています。城陽市が避難に関する情報を発表した際はただちに避難してください。

- 河川氾濫時に1.0m(大人の腰の上)以上の浸水が想定される区域
- 河川氾濫時に0.5m(大人の膝・1階床上)以上の浸水が継続して24時間以上想定される区域
- 河川氾濫時に氾濫流等により家屋倒壊・家屋流出が想定される区域

令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

## 京都市

全国的な激しい集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う不浸透域の増加に伴い短時間に大量の雨水が流出しやすくなった結果、都市型浸水による被害リスクが増大しています。このような状況の下、被害の最小化を図るためには、ハード中心の対策から、住民自らの災害対応やこれを支援するソフト対策を組み合わせた総合的な対策へと転換する必要があります。これらを踏まえ、関係主体が地域特性に応じた総合的な視野に立った効果的な対策の実施を通じて「雨に強いまちづくり」を目指すため、平成22年4月に「**雨に強いまちづくり推進計画**」を策定しました。

### 「雨に強いまちづくり」の背景

- >都市化に伴う雨水流出量の増加
- >集中豪雨の増加

↓

浸水被害が増大

○京都未来まちづくりプラン  
行政の縦割りを排し、市民の目線で政策を融合させ、無駄なく効率的に事業を推進

### 京都市「雨に強いまちづくり」の推進

関係局区が融合し、様々な浸水対策を連携しながら計画的に推進

建設局 産業観光局 消防局 上下水道局 行財政局 区役所 都市計画局  
(平成24年度～) (平成25年度～) (平成26年度～)

### 推進計画の策定

雨に強いまちづくり推進計画 の策定 平成22年4月



- 「浸水被害発生箇所の解消」
- 「浸水のおそれがある箇所への対応」
- 「浸水のおそれがある時の対応」
- 「浸水被害発生時の対応」

浸水被害の最小化

しかし、近年、全国的に記録的な大雨が発生し、京都市においても平成25年台風18号をはじめとする大雨による浸水被害に見舞われたことから、雨に強いまちづくりを各局・区等の連携の下でこれまで以上に強力に推進するため、京都市「雨に強いまちづくり」推進本部（平成26年3月設置）において、平成27年3月に**京都市「雨に強いまちづくり」推進行動計画**を策定しました。推進行動計画では、「雨に強いまちづくり」に関する事業を「ながす」、「ためる・しみこませる」、「くみだす」、「つたえる・にげる」、「そなえる・まもる」というキーワードで5つの基本方針に分類して示しており、これらを組み合わせることによって、より強力に「雨に強いまちづくり」を推進しております。

### 「雨に強いまちづくり」の転機

>推進計画により一定の成果が得られた中・・・  
平成25年9月台風第18号による大雨に伴い、市内全域で多くの浸水被害が発生




嵐山の渡月橋付近 浸水した地下鉄東西線のトンネル部

雨に強いまちづくりを一層強力に推進するため、京都市「雨に強いまちづくり」推進本部を設置

### 推進行動計画及び概要版の策定

京都市「雨に強いまちづくり」推進行動計画の策定（H27.3）

推進行動計画の5つの基本方針

- 基本方針1 「ながす」
- 基本方針2 「ためる・しみこませる」
- 基本方針3 「くみだす」
- 基本方針4 「つたえる・にげる」
- 基本方針5 「そなえる・まもる」

「しのぐ」

京都市情報館（行財政局）において公表（H27.6）

概要版の策定（H27.8）

事業の実効性を確保し、更に力強く推進するため、事業の具体的な内容と年次計画（5箇年）を定める。

令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

## 和束町

# 相楽東部活性化「きづ川アクティビティパーク」の推進

**山のスポーツ、アクティビティ**

湯船森林公園

マウンテンバイク (和東町)

スポーツフィッシング大会 (南山城村)

ボルダリング (笠置町)

高山ダム

カヌー

スタンドアップパドルボート

Eボート

いかだ下り

ラフティング

川のスポーツ、アクティビティ

和東町木屋  
国交省「かわまちづくり支援事業」

木屋エリア

笠置ボルダー

実現イメージ  
河崎川の駅(三重県伊勢市)

現在の木屋エリア

資料-4-12

資料-4-5

# 和東町木津川かわまちづくりの整備イメージ

資料-1



和東町木津川かわまちづくり 基盤整備イメージ

# 和束町木津川かわまちづくりの整備イメージ



令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

## 木津川市



## ■市ハザードマップの更新



## ■赤田川水門竣工



## ■木津川タイムラインの作成



## ■まるごとまちごと ハザードマップの設置



正面玄関横



1階ロビー

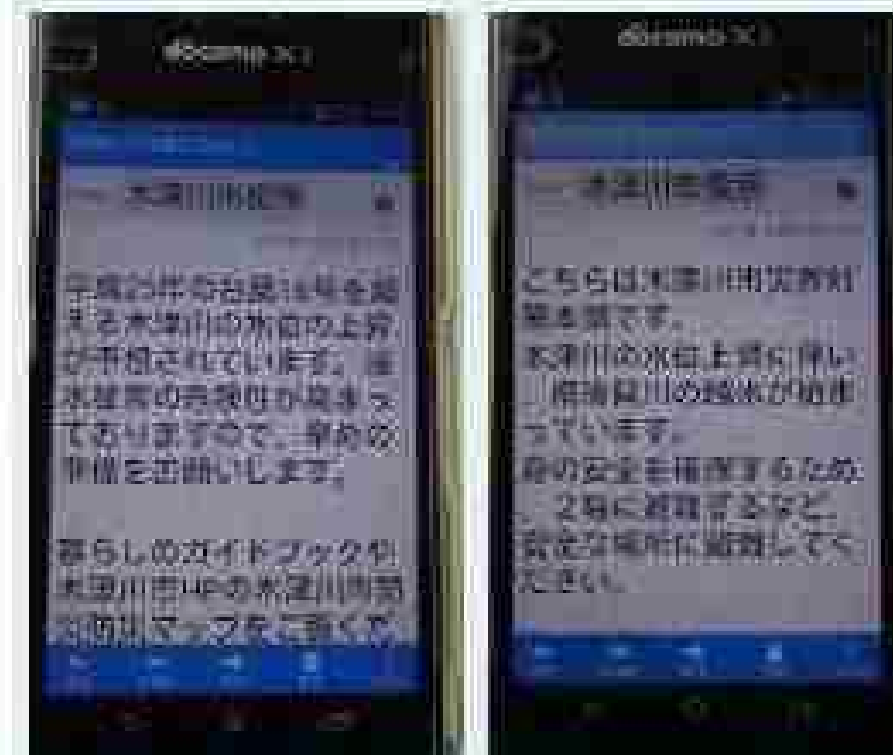
## ■排水能力の向上



## ■台風21号対応



## ■防災情報伝達力の向上



台風21号対応時の  
防災情報メール

## ■要配慮者利用施設における避難確保計画の策定

○令和2年3月末までに淀川河川事務所の協力を得て市内18施設で策定を完了



## ■車中泊避難のための駐車場

【市立相楽小学校】



【株式会社PLANT木津川店】

「災害時における支援協力に関する協定書」(令和元年7月2日締結)



PLANT 木津川店

## ■新型コロナウイルス感染症対応避難所開設・運営訓練

- 1 実施日: 令和2年6月3日
- 2 実施場所: 市立相楽小学校
- 3 実施内容 (1)避難所開設要領  
(2)車中泊避難者の受け入れ要領  
(3)発熱者等への対応要領



受付時の検温  
資料-4-17



プライバシーテント・段ボールベッド

令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

## 宇治市

# 宇治市におけるハード対策

- 平成20年以降、局地的豪雨による浸水被害が市内各所で発生するようになり、中でも平成24年の京都府南部地域豪雨では市内の広範囲で2000棟を超える浸水被害が発生。
- 旧巨椋池干拓地など低平地の広がる西宇治地域においては、浸水被害が常態化するなど、西宇治地域の広域的かつ抜本的な浸水対策が急務となっている。
- 「宇治市公共下水道(洛南処理区)雨水排除計画」を策定(平成24年3月)し、雨水貯留施設や水路の整備等を実施することにより**浸水被害解消へ。**
- 雨水施設整備により浸水被害が解消され、安心・安全なまちづくりを後押しします。

## 現況 (対策前)

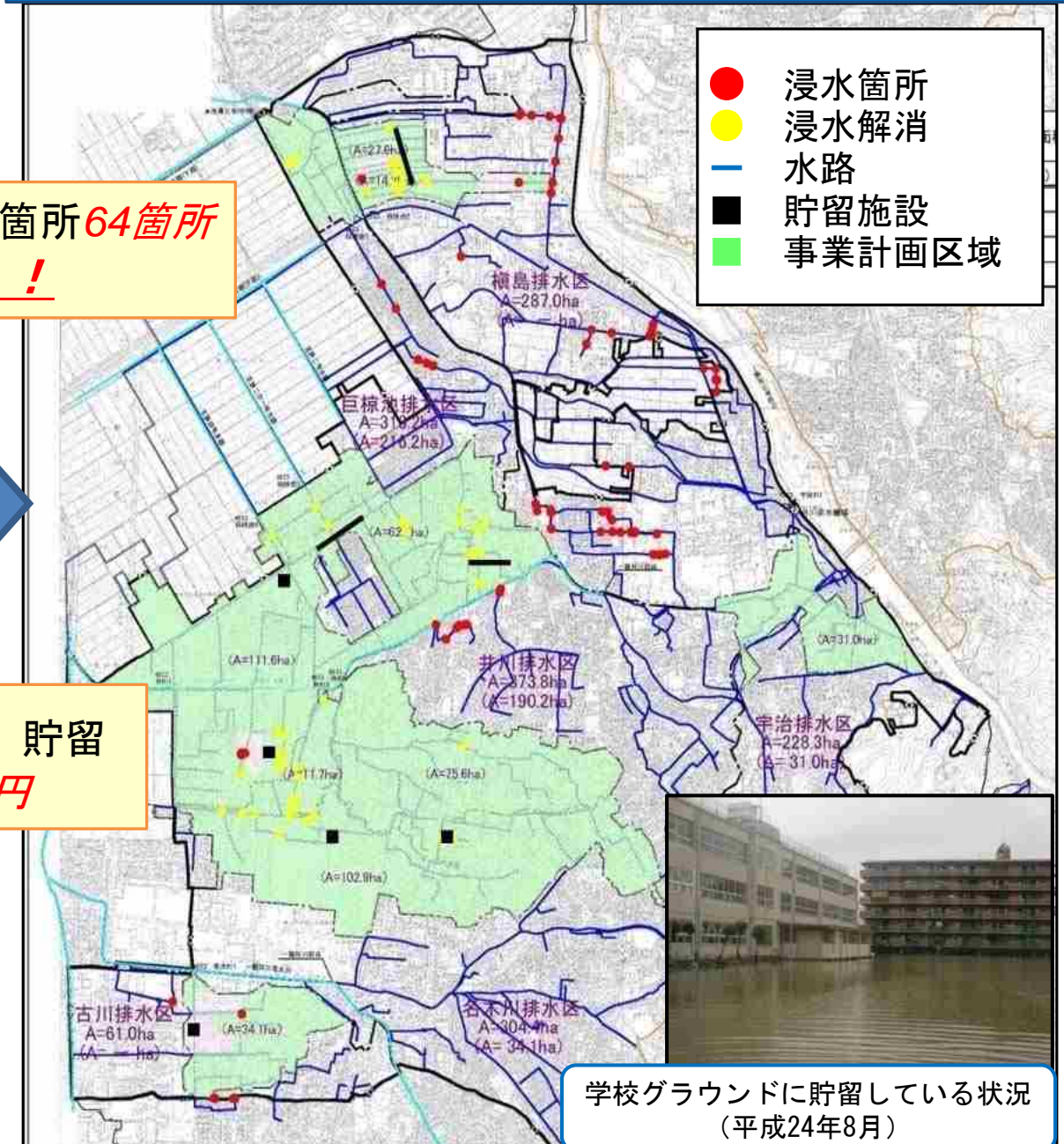


浸水箇所 **110箇所** ⇒ 浸水箇所 **64箇所**  
**46箇所解消!!**

事業計画期間  
(H26年度~R3年度)  
整備後の効果

8地域で **19,240m<sup>3</sup>** 貯留  
総事業費 : **45.3億円**

## 効果 (対策後)



**引き続き計画的に事業を進め、安心・安全なまちづくりへ!**

# 宇治市におけるソフト対策

## ・ 京都大学防災研究所との連携

- ・ 災害の発生を踏まえた地域防災計画の点検・大幅改定
- ・ 合同防災研修の実施（行政間で連携した取組み）
- ・ 防災証明書発行にかかる現地調査管理・証明書発行システムの構築

## ・ 危機管理体制の強化

- ・ 淀川ダム統合管理事務所、淀川河川事務所、京都府、京都気象台とのホットラインの設置
- ・ 災害時相互応援協定の締結
- ・ 京都府、京都府国際センター、宇治市国際親善協会などと連携し、日本語が十分に理解できない外国人支援の訓練（災害 多言語支援センター設置・運営訓練）

## ・ 地域防災力の向上

- ・ 自主防災組織の育成（補助金の充実）
- ・ 自主防災リーダーの養成（リーダーの倍増）
- ・ 自治会等への出前講座
- ・ 京都文教大学と町内会との共同によるマイ防災マップ作成
- ・ 水害避難行動タイムラインの作成

## ・ 防災教育

- ・ 「宇治学」・・・中学校1年は「防災」がテーマ
- ・ ハザードマップに基づいたフィールドワークや避難所体験などから課題を設定し、主体的・協働的に解決していく

## ・ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス状況下の避難について周知・啓発
- ・ 避難所の感染症対策物品の整備



合同防災研修

- ・ 実施日 : 平成28年10月13日
- ・ 実施場所 : 京都大学防災研究所  
オープンラボラトリーラボラトリー
- ・ 参加者 : 宇治警察署、久御山町、宇治市



自主防災リーダーフォローアップ研修

- ・ 実施日 : 令和元年12月14日
- ・ 実施場所 : 京都文教大学
- ・ 参加者 : 京都文教大学、自主防災リーダー、京都府、宇治市

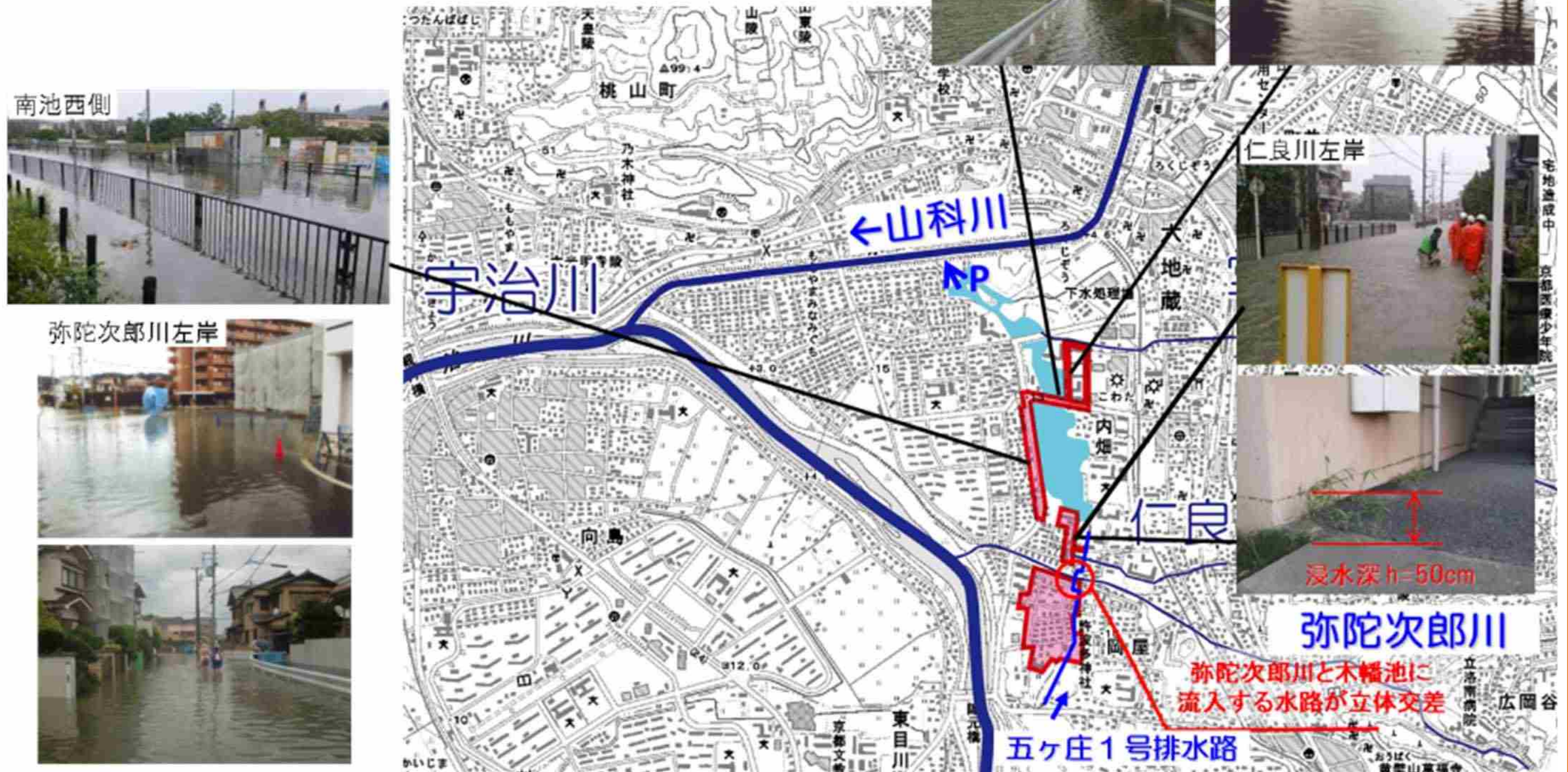


「宇治学」

- ・ 実施日 : 平成30年9月3日
- ・ 実施場所 : 宇治市内中学校の一部
- ・ 参加者 : 宇治市社会福祉協議会、育友会、中学生、宇治市

# 流域関係者が一体となって取り組む対策事例

平成25年9月台風18号における木幡池周辺の浸水被害



国、府、市といった流域の関係者が一丸となって、次なる災害に備え、樋門の増設や堤防の嵩上げ、地下貯留施設の整備など水害の防止、軽減を図るための対策に取り組むことで、**流域住民が安心・安全に暮らせるまちづくりへと繋げる。**

令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

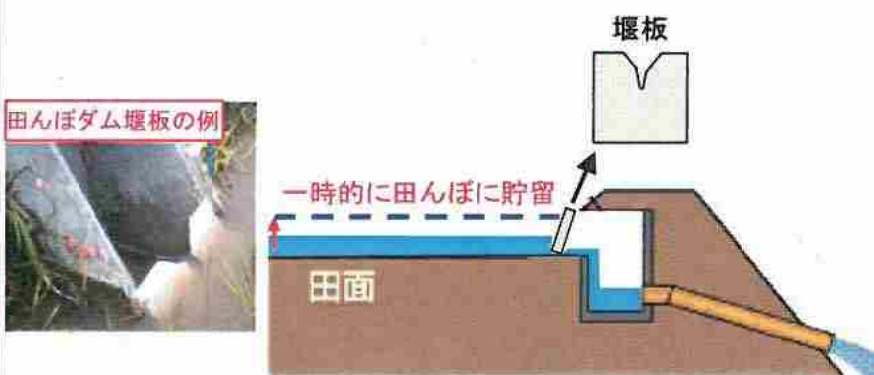
## 近畿農政局

# 農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進（「流域治水」の取組）

都市・市街地の近傍や上流域には、水田が広がり、多くの農業用ダム・ため池・排水施設等が位置している。これらの農地・農業水利施設の多面的機能を活かして、あらゆる関係者協働の取組である「流域治水」を推進する。

## 水田の活用（田んぼダム）

- 田んぼダム（排水口への堰板の設置等による流出抑制）によって下流域の湛水被害リスクを低減。



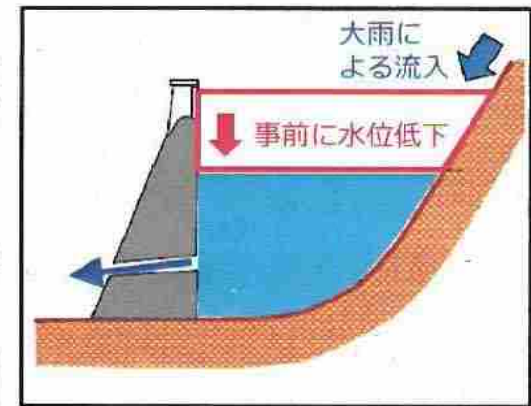
### 【施設の整備等】

- 水田整備、田んぼダムの取組促進

## 農業用ダムの活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げる等によって洪水調節機能を発揮。
- 降雨をダムに貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減。

〔各地区の状況に応じて、放流水を地区内の調整池等に貯留〕



### 【施設の整備等】

- 施設改修、堆砂対策、施設管理者への指導・助言等

## 排水施設の活用

- 農作物の湛水被害を防止するための排水機場等は、市街地や集落の湛水被害も防止・軽減。



### 【施設の整備等】

- 既存施設の改修、ポンプの増設等

## ため池の活用

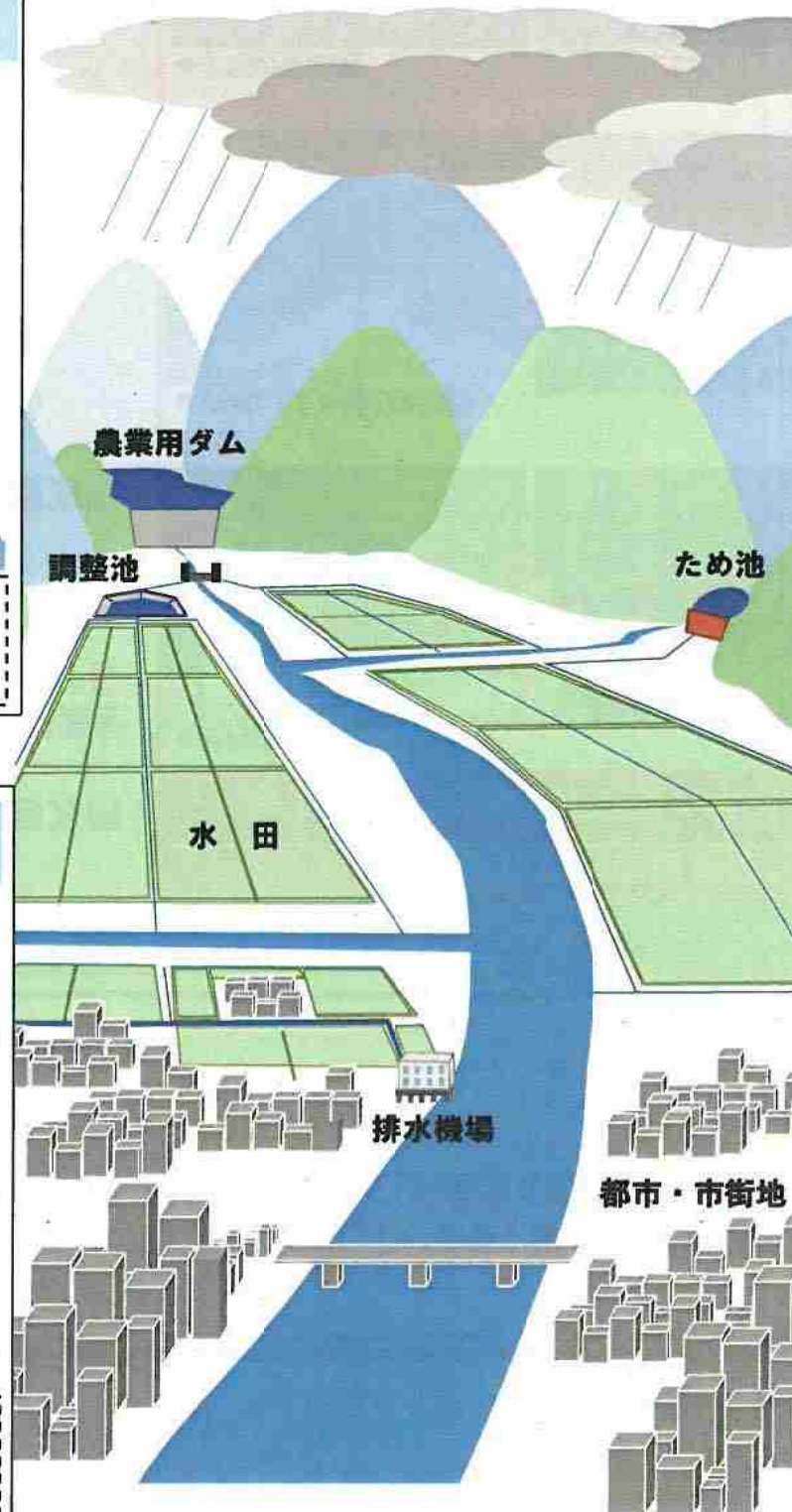
- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げる等によって洪水調節機能を発揮。

- 農業用水の貯留に影響のない範囲で、洪水吐にスリットを設けて貯水位を低下させ、洪水調節容量を増大。



### 【施設の整備等】

- 堤体補強、洪水吐改修、施設管理者への指導・助言等





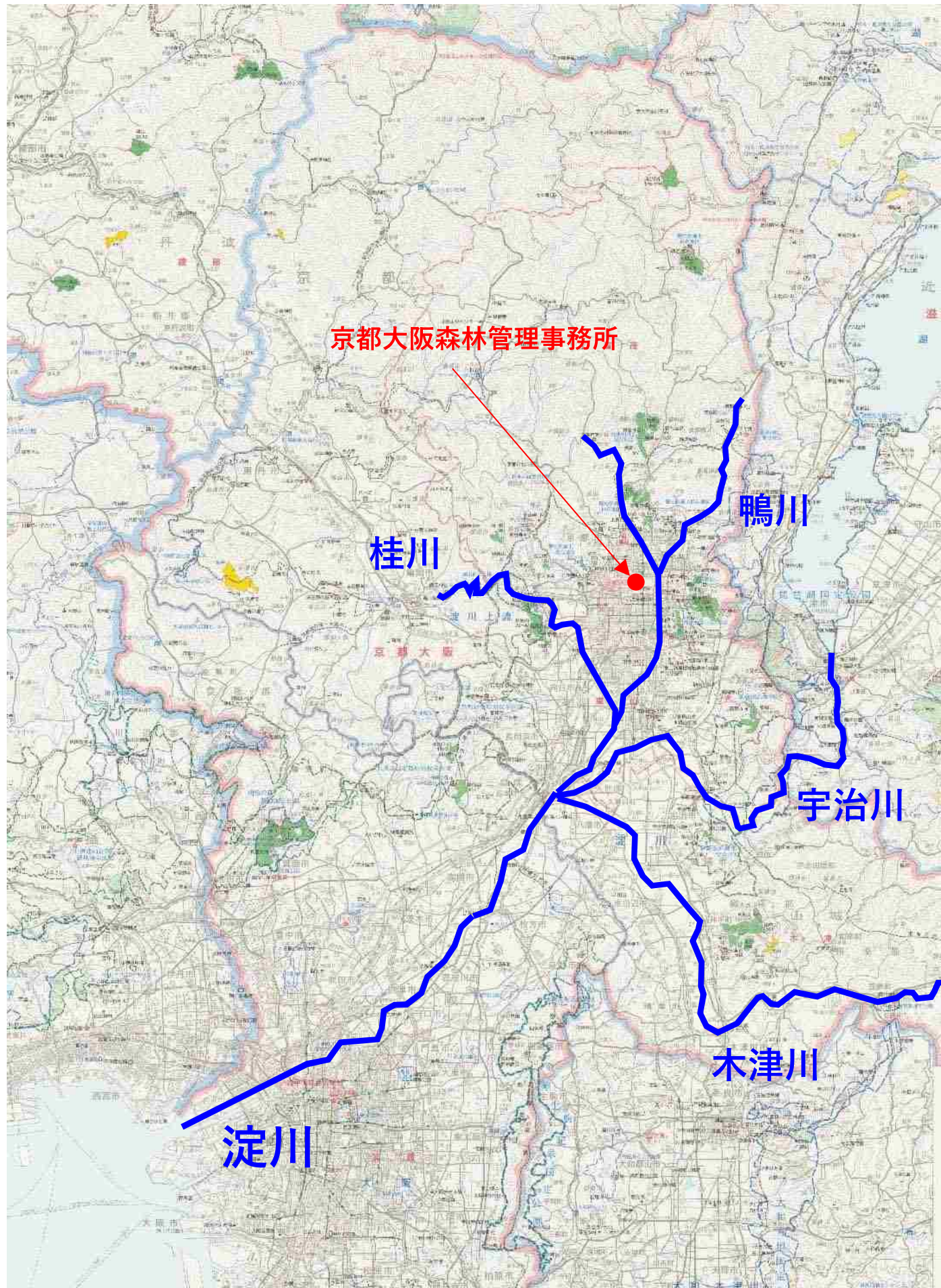
令和2年11月24日(火)15:00-16:00  
第2回淀川流域治水協議会京都分会

# 資料-4 事例紹介

## 林野庁

# 淀川流域における国有林の森林整備・保全対策の実施状況等について

林野庁 近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所



国有林野施業実施計画		
事業区分	淀川上流森林計画区 (H30年度～R4年度)	
治山	溪間工	10箇所
	山腹工	12箇所
	保安林整備	6ha
森林整備	間伐	254ha
	更新(造林)	13ha
	保育(下刈)	41ha
	(除伐)	10ha
	林道(整備)	824m



【森林整備：間伐】



【治山：溪間工（治山ダム）】



【治山：山腹工】



【治山：山腹工】